

5.7.5  
1380  
48



天候急とく江のクリスヤン納経度増筆の積ま立ると言ふ左意若婦人部長をばめ  
 ると宣ふ天二と幸如国と戻還すると言ふ天二と手大射し液底の批判と暴落と早  
 達争如国大衆に行ふこと 四日迄の婦人の空気が最もよい所自の競争意識を  
 る重くして去たへこの暴落は大混亂にして驚かす  
 三波の婦人部長を深山に運搬すること 教名が芽か己ぬると言ふく産るから  
 四日五日の日七重後野級社夏私迄協同と急れるは 此等の諸河、運者日イワから  
 とおどのしと一解雇者の取内しを 望むことである 文海因縁せよとが 値金のこ  
 とは寡ふな 解雇者として消せり一安張りだ 解雇者の家裏の窮状を訴へり  
 六務復介子を三波指はせよ 井上 西田 金子 石井等の他に昨夜の指令に基て家  
 行委員金を三波指はせよ 之の中に現在第一級に立つことある介子は有り  
 然りこれ日第一級の中へ行くか火ると及の交渉を極く  
 六波の三水と七人の名を明く手護國の不利に力になることと云はぬにハ 峻勵して置り 大波  
 中村氏等々態度よく置りて其の時大言くせりハ  
 八今日日雨か降るがあるから然後令 産後令 小瀬渡令 研究令と並び  
 外部の出来は中止した方から云ふ 其の席上ハ僅かに出席する  
 九午後一時ハ余り委員令を閉り 其の席上ハ僅かに出席する  
 百差務が因各を被かしたらハ 関谷日代ハ湯川長が其弟市の助役になつたつてその方が  
 位かして家の方へいいたしと云つてくれ

幹部総が下下争議団員を引としましあり

此上

第 一 七 八 七 号

昭和五年六月九日

警 視 總 監 丸 山 鶴 吉



内務大臣 安達謙藏殿  
 社会局長官 吉田茂殿  
 各 府 県 長 官 殿

〔北海道、京都、大阪、神奈川、兵庫、愛知、静岡、福岡〕

星製薬株式会社労働争議ニ關スル件

（再 第 十 一 報）

- (1) 集會解散ニテハ労働団本部ヲ解散ノ形トナリ解散セル團員科分ニ務ムルト共ニ争議団本部ヲ會社附近ニテ所設ケ対策中
- (2) 九日正午より第一本部タル相互氣盡ニ於テ程京負火會令七時ヨリ家族大會ヲ開催スルトトナリ會社ヨリ送付セル各退職手當ヲ取纏メ會社ニ返付スル準備中
- (3) 會社ニテハ予告退職手當ヲ現送シ在社員ハ出勤勤告ニヨリ漸次出勤者増加シツツナリ解雇社員ノ未辨給料全部ハ近日中ニ支拂フコトナレリ
- (4) 七日迄七時五分ヨリ官憲孔澤演説會開催セリ参加者約百五十名アリ(別報)
- (5) 派替者ニ於テハ引續キ警視中ナルカハ日ハ特記スル事項ナレ

要旨